9/27
朝日

25日夜に行われた「岸田総理にSTOP！インボイス　史上最多オンライン署名の声を届けようアクション」で24人が次々とマイクを握り、首相官邸に向けて訴えました。そのうち6人の発言（要旨）を紹介します。

もっと大きな固まりに

ストップ・インボイスというスイミー（物語の主人公の魚）のもとに集まった人数は52万超という大きな固まりになりました。まだまだ増え続けています。

賛同が集まるほどにエンタメの問題だと矮小化するインボイス、消費税は日本の文化やインフラを破壊し、生産性を落とし、私たちから最後まで文化的な生活を奪い、日本を衰退させる制度です。政府・財務省が見て見ぬふりをするなら、引き続き周知を広げ、もっと大きな固まりになっていきます。間違っていることを間違っていると言えなくなる前に声をあげ続けましょう。

声優・VOICE―ON共同代表
甲斐田 裕子さん

のちに続く人の灯台に

オンライン署名は52万3988人です。50万人ものぼりあげることができるのではないか。そんな希望を感じています。

52万人に数が増えるにつれて、私たちの声をちゃんと聞いてくれる政治とメディアを私たちの手でつくっていきます。インボイスを止めるまで声を上げ続けます。インボイスの中止・延期が経済対策にならないと判断する政府を私は絶対に許せないです。「STOP！インボイス」の一点でイデオロギーも職業も年齢も違う人たちがつながった、この数がな運動を、絶対に政治の場に生かしましょう。次の選挙で、私たちの手で私たちの政治をつくっていきましょう。

「インボイス問題を考えるフリーランスの会」発起人
小泉 なつみさん

国のかじ取るのは国民

官邸の前で岸田総理に声を届けないといけません。聞く力のない岸田総理。

財務省はインボイスという複雑な制度をつくって事業上の免税廃止、事業上の増税をやろうじゃないか家や官僚です。われわれはタレント

ラサール石井さん

と、免税事業者を殺しにかかっているんですよ。

国を船に例えたら、オーナーは国民です。甲板掃除や帆を張っているのが政治家や官僚です。われわれはボイスの中止・延期が経済対策にならないと判断する政府を私は絶対に許せないです。「STOP！インボイス」の一点でイデオロギーも職業も年齢も違う人たちがつながった、この数がな運動を、絶対に政治の場に生かしましょう。次の選挙で、私たちの手で私たちの政治をつくっていきましょう。

操縦室にいなきゃいけないんです。

選挙に行こうじゃありませんか。この国を下支えしているのは、ものをつくったり、小さな飲食店、地方で本屋さんをやったりしている人たちです。彼らがいなくなったら日本は国力がガンと下がるんです。みなさん、声をあげていきましょう。

インボイス反対 官邸前行動 怒りの訴え

多様な社会が失われる

クリエーティブディレクターやフォトグラファーとして、イラストレーターなど、フリーランスの人と一緒に仕事をしています。

インボイス制度が始まれば、私たちは自分たちの財布を痛めるか、（フリーランスに）インボイス登録してもらうしかありません。才能を持った作家さんと仕事をしたいだけなのに、なぜ彼女ら、彼らの首を絞めるようなことを言わなければならないのでしょう。

大企業のみが利益を得ていく社会よりも、多種多様な才能がいろいろなものづくりをしていく、そんな多様な社会であってほしいと切に願っています。

私たちの生活を彩るあらゆるものが、国が決めた制度によって失われていくかもしれないのです。

クリエーティブディレクター
辻 愛沙子さん

財務省の言い草カチン

先だって、財務省の人に文句を言いに行きました。

弱い者いじめするなと。すると、そういえば税理士さんも対象になるんですねと、こういうわけです。カチンときました。

落語家は全国で1000人います。その中で、年収1000万円以上の人は100人に満たない数です。あとのほとんどは（インボイスで増税になる免税事業者の）零細です。

落語家
立川 談四楼さん

いいことなんて一つも

酪農家のほとんどが免税事業者ですが、（インボイスの）直撃を受けるのは、個人でやっている酪農ヘルパーです。酪農家が休日を取得する際に、自分の代わりに働いてもらう仕事です。酪農情勢はもう限界を超えています。友人のヘルパーは「この苦しい情勢で（免税事業者になり消費税分を利用料金に上乗せする）値上げはできない」と言っています。

制度の煩雑さも問題です。いままで通りの納税をするのに余計な手間がかかります。

消費税は減税、もしくは廃止していただきたい。もう限界を超えている酪農情勢なのに、余計な仕事が増え、さらに増税。いいことなんて一つもありません。インボイスは断固阻止しましょう。

酪農家
金谷 雅史さん